



東っ子通信

- E: 笑顔の自分を探そう
- A: 温かい心 あふれる感性
- S: 信じよう!! 自分の可能性
- T: 互いを認め合い共に学び合う仲間たち

“A 温かい心 あふれる感性”

長崎県青少年劇場 劇「100万回生きたねこ」

「長崎県青少年劇場」は、長崎県教育委員会、公益財団法人日本青少年文化センター、公益社団法人日本児童青少年演劇協会の主催で実施されています。

その趣旨は「県内の青少年を対象に、音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、21世紀に生きる青少年の豊かな心を養い、青少年の文化活動の振興を図る」というものです。



劇のエンディングの様子

その青少年劇場が6月28日(火)に本校で行われました。今年、劇団たんぼぼの児童劇「100万回生きたねこ」を全校児童生徒が鑑賞しました。5人の役者さんが様々な役に扮して登場し、テンポよく展開していく劇を間近で見ることができました。誰もが夢中になり時間を忘れて劇に見入っていました。

劇団たんぼぼの皆さん。ありがとうございました。



とら と シロ



“T 互いを認め合い共に学び合う仲間たち”

平和集会を行いました

今年、本校では、7月4日から8日までを「長崎っ子の心を見つめる週間・平和週間」としました。この週間の中では、道徳や情報モラルに関する学習、平和について調べ考えたことを発表して平和を祈念する平和集会に取り組みました。児童生徒が考え作成した「平和宣言」を紹介します。

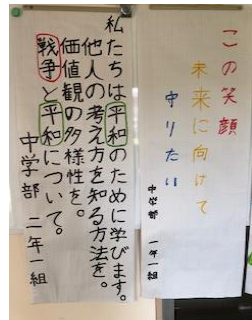


小学部2・4年

「なかなかおり」

小学部5・6年

「笑顔あふれる平和な世界」

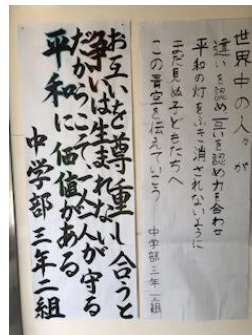


中学部1年

「この笑顔 未来に向けて守りたい」

中学部2年

「私たちは 平和のために学びます。他人の考え方をする方法を。価値観の多様性を。戦争や平和について。」



中学部3年

「世界中の人々が互いを認め、力を合わせ、平和の灯を吹き消されないように、まだ見ぬ子どもたちへこの言葉を伝えていこう」

「お互いを尊重し合うと争いは生まれません。だからこそ、一人一人が守る平和に価値がある」

集会の司会進行、絵本「ふりそでの少女」の読み聞かせには、生徒会役員が中心となって取り組みました。

※東っ子通信はホームページでもご覧いただけます

